

# 道北・空知



旭川支社  
☎0166(26)2541  
FAX(29)2315

空知支社  
☎0126(25)2444  
FAX(32)2195

留萌支局  
☎0164(42)2443  
FAX(49)2154

稚内支局  
☎0162(32)1116  
FAX(32)1118

## 旭川建協や地元建設業者

【旭川】旭山動物園が中心となり、ボルネオの野生生物レスキューセンターを設計・建築する「恩返しプロジェクト」に協力し、地球環境への配慮を旭川の企業から発信していること、旭川建設業協会をはじめとする地元建設業界が動きだしている。売り上げの一部がプロジェクトに寄付される自動販売機を会館・社屋などに設置。また春からは現場単位での導入も予定する。同動物園の坂東元園長は「現地では熱帯雨林が急速に消えている。建設業の人たちが「もつとやさしく生きようね」と、動物園に共感し、応援していただけるのは素晴らしいことと支援の広がりに期待している。



日本は、スナック菓子・冷凍加工食品、化粧品などの原料となるアブラヤシ(パーム油)をボルネオから大量に輸入。また建設現場でも型枠合材に安価な熱帯雨林の木を使用している。一方、現地では急速に熱帯雨林が姿を消して

旭川建協の自販機利用者も寄付のこころを知ると「良いことですね。利用が広がれば」と笑顔を見せた

る。

持続可能な資源利用を考え、環境保全に取り組むNPOのボルネオ保全トラストジャパン(BC TJ)らは昨年、ボルネオソウを中心とした野生生物レスキューセンター設立準備プロジェクトを立ち上げた。旭山動物園は、「ボルネオへの恩返し」の第一歩として、設計から建築まで技術支援することを決めている。

旭川建協の自販機利用者も寄付のこころを知ると「良いことですね。利用が広がれば」と笑顔を見せた

## 寄付型自販機 社屋などに設置

### 坂東園長「地球環境守る支援へ期待」

提唱した。メンバーの一人は、旭川を全国的な知名度に引き上げた旭山動物園に「市民を巻き込む形で建設業界からエールを送りたい」と話し、自販機を通じた継続的な支援方法に目を付けた。また「型枠合板を必需品とする業界としてもボルネオの問題は切実。現場単位で入ると効果が高まる」と、建設現場に地球環境への配慮の輪が広がるように呼び掛けていく考え。

ボルネオでプランテーションなどを視察し、日本人の日常が現地の環境破壊に大きな影響を与えている現実が見えてきたという旭山動物園の坂東元園長は「この暮らしを続けるには、今までは違う価値観を持たなければ」と強く意識し、「恩返し」活動に取り組みはじめた。「人も動物たちが、もつとやさしく生きよう」と話す坂東園長



設置。また、市内の建設業では豊岡建設、田島工業、花本建設も自社に置いた。同建協への設置は、2世会の地域貢献委員会が